



# 西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・中央市・太子町・上郡町・佐用町

西播磨地域ビジョン情報誌

# きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

2015 MAY. No. 30



西播磨地域夢会議 (H27.3.22)

## ■ 西播磨地域夢会議

概要	1
各チーム発表	2～4
夢会議総括	5

## ■ チーム活動レポート

きらり発見☆西播磨 フィールドワーク	6
食材コラボ! カレー対決	6

## ■ 東播磨・西播磨地域ビジョン委員会 交流会

## ■ 西播磨地域ビジョンのロゴマークができました

## ■ 編集後記



製作 西播磨地域ビジョン委員会



# 西播磨地域夢会議

## 《ふる里・西播磨の夢の実現に向けて！》



〜元氣・西播磨!!〜

「夢・現在・明日」

第7期西播磨地域ビジョン委員会  
委員長 松村 晋策

西播磨の魅力は、森・川・海に恵まれた自然豊かな素晴らしい環境のなかで地域の人々が明るく・楽しく・健康で、災害も少なく安全・安心な地域で、互いに思いやり・助け合える強い絆の人間力ではないでしょうか。

また、歴史ある様々な祭りや伝統行事、おいしさを継承する食の文化も魅力です。

地域の「夢」は、ふる里・西播磨の魅力となります。「人の輪」、「安全安心」、「環境」、「交流」4つの夢を実現していくためにはどうすれば良いのか、皆で考え話し合う夢会議に高校生を始め幅広い年代の方々200名に参加いただき6つのテーマに沿って意見や夢や希望など、これから取り組んで行くべき課題など大変熱意あふれる思いのこもった素晴らしい会議になりました。

これからもふる里西播磨の魅力をさらに磨き上げ次世代に繋いで行くことが西播磨地域ビジョン委員の使命と考え取り組んでいきます。ぜひ多くの方にご参加していただき元氣・西播磨を作り上げていきましょう。

今回の夢会議に参加ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



### プログラム

第1部 オープニング【司会：西播磨地域ビジョン副委員長 香山 美穂】

- ① 開会あいさつ 西播磨地域ビジョン委員長 松村 晋策  
兵庫県西播磨県民局長 山本 嘉彦
- ② ビジョン委員会のチーム紹介

第2部 ワークショップ

#### ワークショップ各お題

- ① 子供の健全育成
- ② 西播磨で知りたいこと、伝えたいこと
- ③ あなたにとって「災害」とは何ですか？
- ④ 私の好きな西播磨の自然
- ⑤ 西播磨の食材を使った新レシピの開発
- ⑥ あなたにとって西播磨の「エーとこ」は？

第3部 発表・意見交換

- ① アトラクション 「ぬくみ川」(宍粟市商工会青年部 劇団四想)
- ② 来賓紹介
- ③ 発表・質疑応答
- ④ 副知事講評 兵庫県副知事 金澤 和夫
- ⑤ 閉会あいさつ 西播磨地域ビジョン副委員長 香山 美穂



# 人の輪社会 健やか子ども応援チーム

健やか子ども応援チームでは、「子どもの健全育成」について話し合いました。

現在、この西播磨でもたつの市や宍粟市で児童の虐待が報告されており、論語が説く、祖先から連続と続く「継続社会」が崩れてきていると懸念しています。

話し合いの中では、時代の趨勢ではあるがテレビ文化の発展は教育上害がある、直接ふれあって子どもの良いところを見つけ良い方向に伸ばし育てよう、健全な家庭を作るためには子育てを通じて親の教育も必要であるなどの意見が出ました。

普段のチーム活動では、西播磨管内の幼稚園・保育園において、論語の素読、絵本の読み聞かせ、茶道教室を行っています。ですが、今回出た意見を少しでも取り入れ、子ども達の健やかな成長と明るい未来を願いつつ、子ども達の思いやり、精神力などの情操を育む活動を一生懸命に続けていきたいと考えております。

広報委員 上田 鷹子



上郡町  
円心くん・イトちゃん



宍粟市  
しーたん



太子町  
あすか姫・たいしくん

# 人の輪社会 ネットde応援し隊チーム

ネットde応援し隊チームは、「西播磨で知りたいこと伝えたいこと」のお題で、2つのグループ(11人ずつ)に分かれて話し合いました。

4市3町のそれぞれに歴史的な遺産が数々あり、また、自然に生息する貴重な植物等もある。特産物として、イカナゴ・カキ・イチジク・モロヘイヤ・鹿・イノシシ等々もある。各地点の観光・イベントを線で結んで観光パスが回るようになるというなあ。(夢)

郷土に育ったことに誇りを持ち、先人たちの努力に感謝しつつ、今ある社会・自然を守っていくことが大切である。(自然・気候・交通・産業・教育等々に恵まれている。)

各市町民は、それぞれの市町の広報などで、自分の市町のことはよく知っているが、他の市町のことはあまりよく知らないようです。SNSを通じて情報発信して、西播磨地域のことをよく知ってもらい、活性化していけたらいいなあと思います。

広報委員 西川 政美



# 生活安全チーム

生活安全チームでは、高校生7名を含む25名の参加を得て2グループに分かれ「あなたにとつての災害とは」というテーマで話し合いをしました。

メンバーの中には平成21年8月の佐用町久崎において台風9号による被害の実体験をお持ちの方からお話を伺うことが出来ました。

災害時に肝心なこととして

- ① 自分の命は自分で守る「自助」。
  - ② 家族やご近所でお互いに助け合う「共助」。
  - ③ 避難後の生活支援、復興に関すること「公助」
- であると確認しました。

防災・減災教育とは、単純に危機意識の高揚ではなく、「想定を信じない・自分が率先して逃げる・古老の知恵に学ぶ」という、常識（固定観念）を疑い、教訓の真意をくみ取ることが肝心であることを学びました。

広報委員 赤木 和雄



たつの市  
赤とんぼくん



佐用町  
おさよん

# 森林・川・海の学習と再生チーム

「わたしの好きな西播磨の自然」と題し、身近な自然で大変愛着が深くて心癒される自然、いつまでも残したい自然を出していただきました。

波賀町の高校生から、引原川のような自然豊かな川をいつまでも残すべきとの発言があり、グループの会員より「視察した四万十川と自然状況が同じで、引原川は山と川が一体となっている。

しかし、一宮町の安積や山崎十二波かわまちづくり事業の河川工事は、河川の氾濫から住宅を守るために巨木の伐採やコンクリートの堤防はいたしかたない。」との意見。

西播磨は、揖保川と千種川の二大河川と広大な山・平野・海を抱える素晴らしい自然の宝庫です。この自然を守るためにも、人が自然と親しみ恵みを感じる条件を我々自ら先頭に立ち整える必要があるのではないかとの合意に達しました。森林に人生を捧げた方たちからは、森を管理する人材を育てなくては豊かな川も海も育たないという指摘は、西播磨に住むすべての住民が肝に銘じる言葉だと思えます。私たちは技術革新の名のもとに利便性や利益を追求するあまり、貴重な自然を破壊してきたのではないのでしょうか。自然との融和・自然との共生を真剣に考える時期にきていると思うのです。

広報委員 伊藤 一郎



# 西播磨食材コラボ！チーム

西播磨食材コラボチームは別室（調理室）でのワークショップでした。12月に龍野北高校で開催した委員と高校生とのカレーライス対決のイメージで、夢会議では委員・高校生・地域の参加者ともう一度西播磨の食材（豚・牛・エビ・鹿）と具材を用いて美味しいレシピを検討し、初対面で年齢もバラバラなメンバー4チームで対決しました。

決められた時間に調理・試食・片付け・評価と全力で協力したワークショップになりました。よいドン！でスタートし、調理までは必死で作業をしていましたが、空き時間に自己紹介・試食の意見交換など会話も楽しめました。目標である一番美味しいレシピは鍋の中にあつたカレーの減り具合と拳手の数から一番は『エビカレー』となりました。

今後は、西播磨の食材の選定、レシピ検討は出来たので皆さんにレシピの紹介・発信を目標に後の1年の活動をしていきたいと思います。

広報委員 中村 友法



赤穂市  
陣たくん



相生市  
あいおいわん

きらきら西播磨

## キラリ発見 ☆ 西播磨

— 光を当てる —

【あなたにとって「エーとこ」は?】

2つのグループに分かれて、参加者それぞれの西播磨の「エーとこ」（あまり知られていないが、オススメのスポット）を出しあった。意外な場所も挙げられ、興味深かった。

【「エーとこ」の魅力は?】

「歴史文化を感じる」、「豊かな自然環境」、「精神的に安らぐ」などの意見が出された。

【なぜ無名の存在なのか?】

「PR不足」、「自分から知ろうとしない」、「公共交通や道路網などのアクセス面の未整備」、「地域の情報発信力が弱い」などの分析がなされた。

【魅力アップをさせるための改善策】

「ガイドブックを作成し、活用する」、「SNSやHPなどを使ってPRに力を入れる」、「公共交通機関などのアクセスを整備する」、「地元住民が地域に愛着と誇りを持つ」、「行動力を持って地域を探る」などの提案が出された。また西播磨の特色ある地域資源である山城と地域の歴史文化を絡めた「西播磨山城サミット」のアイデアも披露された。

ワークショップで出された「エーとこ」へも出向いて、西播磨地域の更なる魅力を発見し、情報発信していきたい。

広報委員 春名 千代





## 夢会議まとめ

平成27年3月22日（日） 宍粟市立山崎南中学校に於いて夢会議が開催されました。

西播磨地域ビジョン委員をはじめ、高校生や一般の方を含め200名の参加があり、今回は全員がビジョン委員の6つの推進チームに分かれてのワークショップでした。各チームの活動はパネル展示やスライドで紹介され、それぞれのチームのテーマにもとづいて活発に意見交換がおこなわれました。

会場では健やか子ども応援チームによる抹茶と手作りの桜餅のおもてなしがあり、休憩時間を利用して西播磨食材コラボ！チームと高校生、いずみ会、事務局により「西播磨和風カレー」がふるまわれ、とても美味しいと大好評でした。カレーは牛肉、鹿肉、エビ、豚肉、の4種類があり、参加した高校生は「自分たちの作ったエビカレーが1番人気だった。」と笑顔で満足そうに話してくれました。

アトラクションの宍粟市商工会青年部「劇団四想」による寸劇も華をそえました。『ぬくぬ川』という日本酒発祥の物語で、笑いも交えながらの演技に会場の空気は播磨国風土記の世界に包まれました。

全体討議では副知事や国会議員秘書、各市町長、県会議員、ビジョン委員会専門委員の方々を来賓に迎え、各チームの代表がワークショップで話し合った内容を発表しました。

金澤和夫副知事からは、「地域の魅力を伝えるには、何が、どう素晴らしいのか、ストーリー、体験、写真など交え、何も知らない相手に伝わるよう説明する力が必要。素晴らしい自然を後世に残すためには人材が必要であり、人材を惹きつける為にも魅力を伝える努力が必要。災害にしても伝えないと無かった事になってしまいます。きちんと伝えることが必要です。」…とちゃんと『伝える』ということの大切さを説かれました。

参加した皆さんが自然豊かな西播磨をもっと知ってもらおう、歴史や食文化をどんどん紹介して西播磨をもっともっと好きになってもらおうという思いにあふれ、この想いを若い世代につないでいくことがとても大切だなと感じた会議でした。そしてその若い世代、高校生の皆さんの活躍がキラリ光っていました。元気・西播磨!! づくりにかかせない若い人達とともに議論をし、西播磨の<sup>みらい</sup>明日を考える有意義な1日となりました。

広報委員 三輪 佳世



# きらり発見☆西播磨

## ―光を当てる♪―チーム

フィールドワーク 西播磨地域資源の見学・取材

### ◆第7回 12月20日 赤穂市◆

午前は、坂越浦会所や坂越まち並み館などを見学。坂越湾の周辺は、景観形成地区に指定されており、廻船業や漁業で栄えた港町の情緒あふれる美しいまち並みが残されている。

午後は、江戸時代初期より塩田、塩問屋を営んできた田淵家より寄贈された美術品や古文書を展示する『田淵記念館』を訪問。赤穂の伝統文化に触れた。



最後に雲火焼展示館『桃井ミュージアム』へ。雲火焼、水琴窟、赤穂緞通、絵画など、赤穂の粋な芸術を心ゆくまで堪能した。



### ◆第8回 1月31日 たつの市◆

午前は、赤とんぼ歌碑や三木露風の像、文学の小径、霞城館などを見学。童謡の里、龍野を満喫した。

午後は、龍野城、龍野歴史文化資料館を見学。城下町には武家屋敷や白壁の土蔵、碑なども多く残り、歴史と伝統のある風格が漂っている。中腹に山城があったとされる鶏籠山(けいろうさん)や紅葉合は、季節によって彩りを添え、『播磨の小京都』として訪れる人を魅了している。

閑静な町の佇まいの中に、名所旧跡が点在しており、古い歴史と豊かな詩情を味わうことができた。



広報委員 春名 千代

## キラリ発見☆西播磨―光を当てる♪―チームが見つけたお宝を紹介します♡

☆雲火焼のコーヒーカップ



☆龍野で発見した「ここにしかないもの」



☆日本酒発祥の地(庭田神社)のぬくみの泉



## 西播磨食材コラボ！チーム

### VS 高校生

カレー対決が平成26年12月23日(祝)に龍野北高校で行われました。私たちチーム委員と高校生が西播磨各地の食材を使ったカレーを考案して対決するという初めての料理対決でした。ルール設定・進行が手探りの状態だったので、我々もそうですが高校生が大変だったかと思えます。今回の成果・反省点を参考として、次年度の活動に活かしていきたいです。

優勝は山崎高校のチームでしたが、呼びかけをした4つのすべての高校(山崎・佐用・龍野北・上郡)とも、本当に西播磨の食材選び、特徴を考えられた素敵なレシピで、委員全員が若者の発想に感動をしました。なによりも、今回の料理対決の感想は若い世代との交流です。楽しい時間をありがとうございました。

参加の高校生の感想にもありましたが、今後はもっとたくさんの方の高校生に声をかけ一緒に、西播磨特製のレシピを考えていきたいです。そして、西播磨地域の皆さんと交流しましょう♪



広報委員 中村 友法

# 第7期 東播磨・西播磨地域ビジョン委員会 研修会&交流会 報告

広報委員 伊藤一郎

日時 平成 26 年 12 月 21 日

場所 揖保乃糸資料館「そうめんの里」

東播磨地域ビジョン委員 18 名、西播磨地域ビジョン委員 25 名の総勢 43 名が集まりました。

基調講演は、からくさ塾主催者の小嶋 明先生です。地域の夢を作り上げる進め方を、「地域づくり実践講座」を例にしてわかりやすくお話しされました。先生は地元多可町で、兵庫県が進める住民主体の地域づくりに関わり住民が求める施設をまとめ促進されてきた人です。実践されてきた重みと発言に説得力があり、話にひきこまれました。



そうめんの里での昼食は、そうめん尽くしの大変おいしい食事でした。

昼からはコーディネーターの田端和彦先生による「あなたの地域で“ほこれるものは”」、その「誇り」を未来に継承・発展させるために、共に考えよう～。小グループで喧々諤々出し合って各班の発表となり、大変盛り上がりました。先生の進め方や会の運営の仕方に関心しました。東播磨と西播磨地域のビジョン委員が同数で小グループになったので、地域の環境のちがいが少しありましたが、自然や文化を守ることについては、同じ意見になったと思います。



## 「西播磨地域ビジョン」のロゴマークができました

西播磨の光と水と緑を表した、「西播磨地域ビジョン」のロゴマークができました。これからも、西播磨地域ビジョン委員会は「西播磨の光と水と緑でつなぐ一元気・西播磨一」を基本姿勢として活動していきます。ご協力よろしくお願ひいたします。

県立龍野北高等学校総合デザイン科の  
宮辻亜希さんのデザインです



## 編集後記

西播磨の山々が淡い緑に染まっていく芽吹き季節、鮮やかな春の訪れと、新たな生命の力強いエネルギーを身近に感じる季節になりました。

3月22日 春を先取りした陽気の中、山崎南中学校体育館において「西播磨地域夢会議」が開催されました。一般参加の方々、高校生の皆さんの貴重なご意見を、今後のビジョン委員会の活動に役立てていきたいと思っています。ご協力よろしくお願ひいたします。

第7期西播磨地域ビジョン委員会 副委員長・広報部会長 香山 美穂



連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）  
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25  
【TEL】0791-58-2115 【FAX】0791-58-0523

